

経済・金融
フラッシュ貿易統計 24 年 11 月－自動車を中心に
に欧米向け輸出の減少が続く

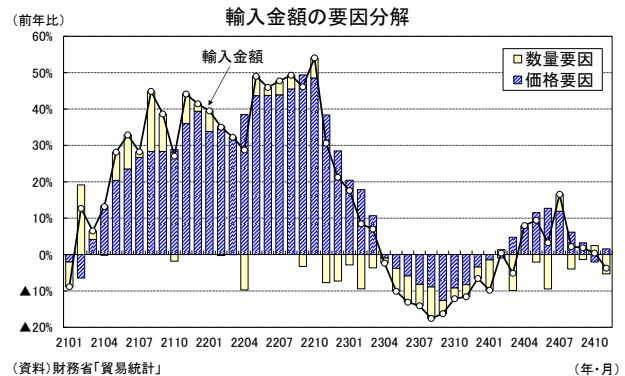
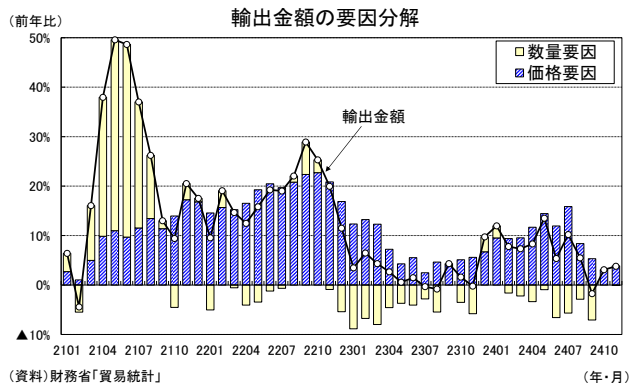
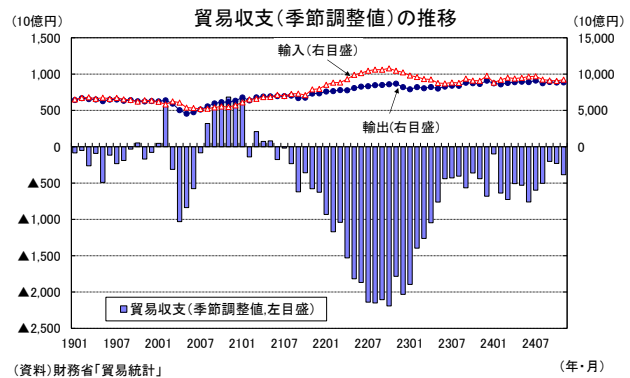
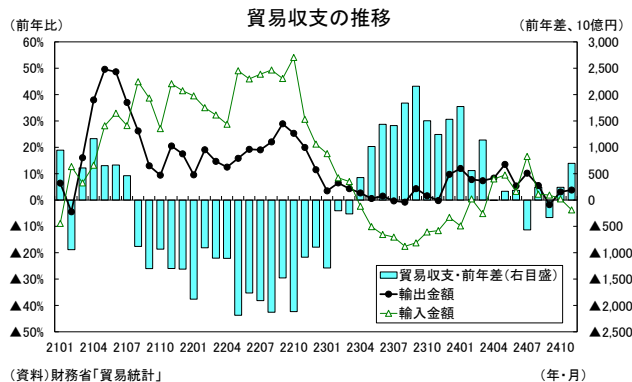
経済研究部 経済調査部長 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 貿易赤字は事前予想を下回る

財務省が 12 月 18 日に公表した貿易統計によると、24 年 11 月の貿易収支は▲1,176 億円の赤字となったが、赤字幅は事前の市場予想（QUICK 集計：▲7,030 億円、当社予想は▲6,754 億円）を下回った。輸出が前年比 3.8%（10 月：同 3.1%）と 2 ヶ月連続で増加する一方、輸入が前年比▲3.8%（10 月：同 0.4%）と 8 ヶ月ぶりに減少に転じたため、貿易収支は前年に比べ 6,962 億円の改善となった。

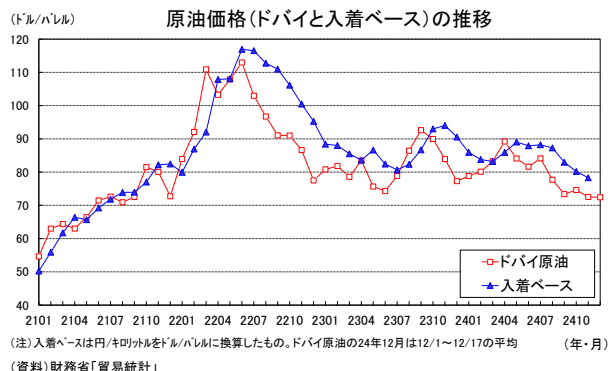
輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比▲0.1%（10 月：同 0.1%）、輸出価格が前年比 3.9%（10 月：同 3.0%）、輸入の内訳は、輸入数量が前年比▲5.3%（10 月：同 2.5%）、輸入価格が前年比 1.6%（10 月：同▲2.0%）であった。



季節調整済の貿易収支は▲3,842 億円と 42 ヶ月連続の赤字となり、10 月の▲2,292 億円から赤字

幅が拡大した。円安の影響で輸入が前月比 1.9%の高い伸びとなり、輸出の伸び（同 0.2%）を上回ったことが赤字幅の拡大につながった。

24 年 11 月の通関（入着）ベースの原油価格は 1 バレル＝78.3 ドル（当研究所による試算値）と、10 月の 80.2 ドルから低下した。足もとの原油価格（ドバイ）は 70 ドル台前半で推移しており、指標価格に上乘せされる調整金、船賃、保険料などを含めた通関ベースの原油価格は、24 年 12 月も 70 ドル台後半となることが見込まれる。

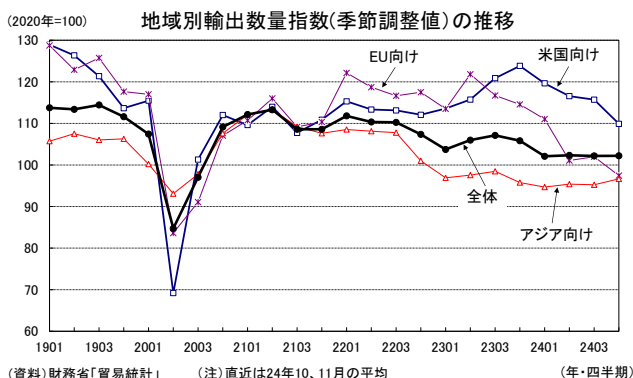


2. 欧米向け輸出は弱い動きが続く

24 年 11 月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比▲9.5%（10 月：同▲6.1%）、EU 向けが前年比▲14.2%（10 月：同▲15.9%）、アジア向けが前年比 4.4%（10 月：同 3.9%）、うち中国向けが前年比▲6.4%（10 月：同▲4.4%）となった。

24 年 11 月の地域別輸出数量指数を季節調整値（当研究所による試算値）でみると、米国向けが前月比▲2.1%（10 月：同▲8.8%）、EU 向けが前月比▲3.9%（10 月：同▲4.2%）、アジア向けが前月比 0.2%（10 月：同 1.2%）、うち中国向けが前月比▲0.2%（10 月：同 0.9%）、全体では前月比▲1.4%（10 月：同▲1.0%）となった。

24 年 10、11 月の平均を 7-9 月期と比較すると、アジア向けは 1.5%、中国向けは 0.7%高いが、米国向けが▲5.0%、EU 向けが▲4.5%低くなっている（全体は 0.0%の横ばい）。アジア向けは持ち直しているが、欧米向けが自動車を中心に弱い動きとなっている。自動車の輸出数量は米国向けが前年比▲16.9%（10 月：同▲8.9%）、EU 向けが同▲34.4%（10 月：同▲29.2%）と大幅な減少が続いている。



輸出は全体としては横ばい圏で推移している。先行きについても、海外経済の減速が続くことから、輸出が景気の牽引役となることは当分期待できないだろう。